

## 情報公開文書

【研究課題名】 画像診断を用いたがん骨転移診療システム構築に向けての取り組み

【研究代表者氏名】 奈良県立医科大学 整形外科 重松 英樹

【研究機関の名称】 奈良県立医科大学

【研究機関の長】 奈良県立医科大学 学長 細井 裕司

【研究の概要】

この研究は奈良県立医科大学の医の倫理審査委員会で承認、学長許可を得ております。

研究対象者

2021年9月から2023年12月31日までに当院でCT, MRIを撮影され、撮影範囲内に脊椎転移を認めたすべての患者さん

研究の意義

院内撮像の全CT, MRIを対象に脊椎転移を抽出し、診断と同時に治療を開始する連携システムを構築し、脊椎転移からの骨関連事象（骨折、脊髄圧迫からの麻痺発生）を予防したいと考えています。そのために早期に治療介入する必要性があると我々は考えています。当院は全てのCT, MRIに放射線読影医師により画像所見が作成されますので、もしもその撮影範囲内に脊椎転移が指摘された場合において当科でがん診療科担当医に連絡し、必要に応じて当科で治療介入を開始いたします。

研究の目的

本研究により、がんの脊椎転移症例を早期に把握し、登録の上、必要があれば積極的な治療介入をいたします。それにより骨関連事象の発生が予防できるかどうかについて検討を行いたいと考えています。

研究の方法

評価項目

電子カルテ上の診療情報を用います。主に脊椎転移高位、 performance status、癌種、年齢、性別、指摘された画像（CT or MRI or その他）、骨関連事象の有無について記録させていただきます。

評価方法の概要

脊椎転移があり登録させていただいた患者さんのなかで骨関連事象がどの程度発生しているのかを検討します。当科の外来にて経過観察可能である患者さんについては治療介入による骨関連事象発生予防がなされているのかについて検討を行います。

個人情報の扱い

個人名はデータに含まれておりません。

学会発表および論文発表時は個人を特定できないようにいたします。

研究実施期間は、審査承認日～2025年12月31日までです。

本研究では通常の診察のデータを使用するため、患者さんに新たに実施する負担が生じることはありません。

**【研究計画書および研究方法に関わる資料の入手・閲覧】**

研究計画書の入手・閲覧をご希望される研究対象者は相談先にご連絡ください。

他の研究対象者などの個人情報及び知的財産の保護などに支障がない範囲内に限り入手閲覧が可能になります。

ただし、入手閲覧の目的によっては入手・閲覧をお断りする場合があります。

研究方法については研究概要をご参照ください。

**【研究参加拒否機会の保証】**

もしも個人のデータを使用してほしくない患者さんは以下に記載いたします相談先に連絡をください。

もしも参加しなくても今後の診療などへ何ら不利益を生じることはありません。

**【研究体制】**

本研究は、当院整形外科と放射線科による単施設共同研究です。

**【相談先】**

〒634-8522

奈良県橿原市四条町 840 奈良県立医科大学 整形外科

重松 英樹

Email: [shideki@naramed-u.ac.jp](mailto:shideki@naramed-u.ac.jp) TEL: 0744-22-3051 (内 2324)